

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：北海道開発局建設部地方整備課
担当課長名：吉井厚志

事業名	一般道道 倶多楽湖公園線	事業区分	地方道	事業主体	北海道
起終点	自：北海道登別市中登別町 至：北海道登別市登別温泉町	延長	1.7 km		

事業概要

一般道道倶多楽湖公園線は、登別市中登別町から登別温泉街・倶多楽湖を經由し登別市中登別町に至る延長約15kmの観光道路であるほか、登別温泉街の住民の通院、通学、買い物などといった日常生活における重要な役割を果たす生活道路としても重要な路線である。

本事業は、日本有数の温泉地「登別温泉」への唯一のアクセスルートとなっている当該区間の隘路解消を目的とした、延長1.7kmの現道拡幅、改良整備を行うものである。

事業の目的、必要性

当該区間の整備は、幅員が狭小で線形が悪く急勾配を有する隘路区間となっていることから、拡幅及び線形改良を行い、国道36号・北海道縦貫自動車道登別東ICから登別温泉へのアクセス向上や交通事故減少に資するとともに、観光シーズンや朝夕の渋滞を緩和し、登別厚生年金病院への連絡強化及び歩道設置による安全な歩行空間の確保に大きく寄与するものである。

全体事業費	31億円		計画交通量	8,060台/日	
費用対効果分析結果	B/C: 2.2	総費用: 24億円 （事業費：23億円 維持管理費：1億円）	総便益:	52億円	基準年: 平成15年
			（走行時間短縮便益：51億円 走行費用減少便益：1億円 交通事故減少便益：0億円）		

感度分析の結果

交通量変動	: B/C=2.4 (交通量 +10%)	B/C=2.0 (交通量 -10%)
事業費変動	: B/C=2.0 (事業費 +10%)	B/C=2.4 (事業費 -10%)
事業期間変動	: B/C=2.1 (事業期間 +20%)	B/C=2.2 (事業期間 -20%)

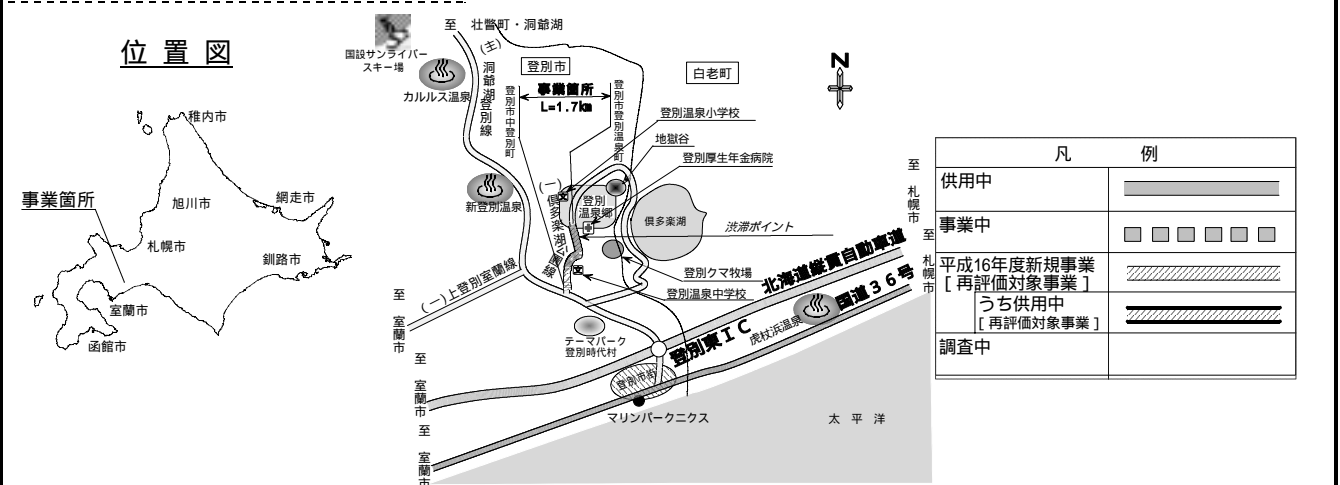
事業の効果等

- ・円滑なモビリティの確保（現道等に、当該路線の整備より利便性の向上の期待できるバス路線が存在する）
- ・個性ある地域の形成（主要な観光地である登別温泉へのアクセス向上が期待できる）
- ・その他プロジェクトとの関係（道路整備に関するプログラムに位置づけられている）

関係する地方公共団体等の意見

倶多楽湖公園線の整備は、主要な観光地登別温泉へのアクセス向上、交通安全の向上等に重要な役割を果たすことが期待されており、平成11年度から、登別市より最重要要望として早期整備の要望を受けており、また平成13年度からは全道商工会議所連絡会、平成14年度からは登別市をはじめとする3市4町1村の首長で構成される北海道室蘭地方総合開発期成会より早期整備の要望を受けている。

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。